



第7回ジュニアヨットクラブジャンボリー2019

実施報告書

実行委員長 葛西信一

1. はじめに

元号が令和に変わった記念すべき年の大型連休期間、5月3日～5日の3日間にわたり第7回目のジュニアヨットクラブジャンボリーが、昨年に引き続き茨城県行方市で開催されました。昨年の海洋活動は霞ヶ浦ふれあいランドでしたが、宿泊施設である茨城県立白浜少年自然の家との間の移動に時間がかかったことから、今年は霞ヶ浦の天王崎公園を会場とすることにしました。茨城県セーリング連盟に加え、天王崎公園を活動拠点にしている麻生ヨットクラブの共催と、地元行方市のご後援をいただき、楽しく充実した3日間の活動を無事に終了することができました。今回の活動は、麻生ヨットクラブの皆様の多大なるご協力により実現できたことを、まずはご報告させていただきます。



天王崎公園本部テント



湖上から天王崎公園を望む

2. 概要

2019年5月3日（憲法記念日）～5日（子供の日）の2泊3日で開催されました。

海洋活動は天王崎公園、宿泊は茨城県立白浜少年自然の家。

今回の目的とねらいは下記の通りです。

- ① 共同生活により青少年の心身の育成を図る。
- ② 環境保全を目的として、自然と親しみ維持していく。
- ③ 2泊3日の共同活動にて、たくさんの友達をつくろう。
- ④ 保護者・コーチの交流を深める。

3. 参加者及び乗艇艇種

5チームより選手12名（男性7名、女性5名）、指導者・保護者16名、付添5名（小一2名、小二3名）、麻生ヨットクラブ（3日間11～13名延べ30名以上）、JJYU関係者7名、総勢50数名での活動とな

りました。

■参加クラブと人数

葉山町セーリング協会	選手 5 名	指導者・保護者 10 名、付添 5 名
横浜ジュニアヨットクラブ	選手 2 名	保護者 2 名
夢の島ヨットクラブ	選手 1 名	保護者 1 名
三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブ	選手 2 名	保護者 2 名
NPO 法人横須賀ヨット協会ジュニアヨットクラブ	選手 2 名	保護者 1 名

5. 実施内容

5月3日（憲法記念日）

五月晴れの爽やかな初日を迎えることができました。予定通り 10:00 に天王崎公園の麻生ヨットクラブハーバー内の砂浜において、昨年に引き続き行方市の鈴木市長にご臨席いただき開会式を開催しました。JJYU の中川常務理事による開会宣言、JJYU 伊藤専務理事、麻生ヨットクラブの内田代表そして行方市の鈴木市長よりご挨拶をいただきました。鈴木市長からは、今年の茨城国体において行方市はゲートボールとビーチハンドボールの会場になること、そして霞ヶ浦ではセーリング競技が行われるとのお話がありました。



開会式：右から伊藤 JJYU 専務理事、鈴木行方市長、内田麻生ヨットクラブ代表

開会式に引き続き、オリエンテーリングを実施しました。麻生ヨットクラブの岡里様より運営スタッフの紹介に続き、霞ヶ浦は水泳ができるくらいに水がきれいなこと、水域には定置網があちこちに仕掛けてあるので気をつけてほしいなどのお話がありました。続いて JJYU 中川常務理事からは今回活動内容の紹介、そして選手たちを A、B の 2 チームに分けて活動することを説明。引き続き各チームを担当するコーチの紹介があり、各チームに分かれてのミーティングを行いました。

■チーム分け

A チーム 6 名：元コーチ（JJYU）、後関コーチ（葉山町セーリング協会）

B チーム 6 名：竹腰コーチ（JJYU）、橘コーチ（葉山町セーリング協会）

開会式終了後に昼食を取ったところで風も吹き出してきました。各自艀装を整え、A、B2チームに分かれて活動を開始しました。今回のジャンボリーでは麻生ヨットクラブより運営艇として4艇を貸し出していただき、B\$Gからお借りした1艇と合わせて合計5艇の体制で活動をサポートすることが出来ました。



レイク（定員6名、Bチーム）



本部船（定員6名、Aチーム）



ゴムボート（定員4名、連絡など）



クルーザー（定員8名、観覧艇）



ヤマハ（定員6名、海上本部）

また水辺のスポーツの楽しさを体験し楽しい思い出をたくさん持ち帰っていただくことを目的に、体験メニューも盛りだくさんに用意しました。子供たちが湖上の活動に出かけたあとは、保護者の皆様が早速カヌーでスイスイと湖上を走りまわっていました。

■水辺スポーツ体験メニュー

カヌー（指導者2名、2人乗り：2艇、1人乗り：3艇）

SUP（1艇）

レイク（1艇）

水上バイク（1艇）

ジェットボート（1艇）

15：30に活動を切り上げて後片づけを済ませて、宿泊施設である茨城県立白浜少年自然の家に各自車で移動しました。到着後の入所式では、自分のことは自分で行う、使用したものはきちんと片付ける、他の利用者にも気遣いをするなど、共同生活を送る際の注意事項や寝具の管理などについて担当者の方から説明を受けました。その後に部屋割りの発表があり、各自荷物をもって部屋に向かいました。



白浜少年自然の家

入所式

17:00 夕食 みんなそろって「いただきます」

18:00 入浴

19:00 ミーティング

中川常務理事より「団体生活では早めの行動を心がけることが大切。1人でも約束の時間に遅れると皆を待たせることになる。1人が1秒遅れただけで団体メンバー全員では大きな時間の無駄になる」とのお話がありました。

22:00 消灯、就寝

消灯後に、保護者や指導者間の交流や情報交換を目的に、食堂で懇親会を開催しました。



皆で食べる食事の味は格別



夜のミーティング、昼の活動の疲れが出る頃です

5月4日（みどりの日）

6:30 起床、

7:00 つどいの広場でラジオ体操

7:30 朝食

その後各自活動開始の準備を整えて天王崎公園の麻生ヨットクラブハーバーに向かいました。



爽やかな朝日をあびて元気にラジオ体操



一日元気で活動できるようにしっかり朝食をたべようね

2日目も晴れ渡る空に心地よい風の吹く絶好の活動日和、雄大な水面が広がる霞ヶ浦に到着しました。この日は午前中にカヌーや SUP そして水上バイクなどの体験してもらうことにしました。カヌーの体験では、指導員の方からパドルリングの基本から教えてもらい、早速湖上にこぎ出していました。

体験メニューで特に人気だったのが水上バイクでした。OP とはケタ違いのスピードで水上を走りまわるバイクに、子供たちは目を輝かせて自分の順番が来るのを待っていました。

普段の OP とは違う水辺のスポーツを存分に楽しみ、昼食のお弁当を食べたあとは、A、B チームに分かれて湖上での練習を行いました。この日の風は3m前後で B チームにとっても練習にはもってこいのコンディション。15時30分の終了時刻まで、充実した活動を行うことができました。



カヌー教室でこぎ方を指導してもらい、すぐにパドルをあることができるようになりました



SUP 体験

保護者に人気のセーリング体験



一番人気は水上バイクでした



スピード感がケタ違いの水上バイク



A チーム練習風景



B チーム練習風景

天王崎での活動終了後、白浜少年自然の家に戻り夕食そして入浴をすませ、１９時からお待ちかねのキャンプファイヤーがはじまりました。まずは“火の神”と“火の守”が登場し、手にしたトーチから積み上げられた薪に点火するとあたりが明るく幻想的にうかびあがります。“お菓子の神”も登場し参加者におやつを配って歩きます。参加クラブが順番に自己紹介を行い、最後に葉山町セーリング協会のメンバーがおなじみのタックダンスを披露しました。

その後、２０時からミーティング、２０時３０分から指導者研修会を行いました。

２２時からは食堂で懇親会が開催され、昨夜よりも打ち解けた雰囲気、夜遅くまで指導者や保護者間の懇親を深めることができました。



火の神と火の守りが登場



いよいよ点火



かわいいお菓子の神様も登場しました



A チーム夜のミーティング



B チーム夜のミーティング

5月5日（こどもの日）

- 6：30 起床、出発の準備や寝具の片付け、部屋の掃除など、
- 7：00 つどいの広場でラジオ体操
- 7：30 朝食
- 8：15 退所式を終えた後に天王崎公園の麻生ヨットクラブハーバーに向けて出発
- 9：30 天王崎にて活動前のミーティング



活動前のミーティング

最終日も天気は快晴となりましたが、風は微風で湖上での活動の実施ができるかどうかは微妙な状態でした。ミーティングでは中川常務理事より、午前中にレースを実施するとのアナウンスがあり10時にはまずAチームが出艇。しばらく風待ちをしましたがやはりコンディションは回復せず、早々に全艇ハーバーにバックの指示が海上本部から発せられました。帰着後は各自後片付けを行いました。

12：00 おなじみのカレーの昼食の準備ができました。おなかを空かせた子供たちは美味しそうにカレーを食べていました。

13：00 満腹になったところで、今回の目玉イベントのひとつ“イチゴ狩り”の時間になりました。各自収穫したイチゴを入れる容器をもって、歩いて10分ほどのイチゴを栽培している温室に向かいました。栽培農家の永作さんから説明を受けた後、早速ハウス内で30分間取り放題のイチゴ狩りがスタート。あっという間に指定された畝のイチゴをほぼ取りつくし、美味しい摘みたてのイチゴを味わい、大人も子供も満足そうな笑顔でした。



カレーの準備が出来ました



イチゴがたくさん採れてよかったね

14:00 閉会式を行いました。麻生ヨットクラブを代表して小峰実様より「参加者のみなさんのヨットの技術が大変高いことに驚きました。ここ天王崎はヨットを楽しむのに最適な場所ですので、いつでも気軽にお越しください。来年もお会いできることを期待しています。」とのご挨拶をいただきました。遠方より参加してくださった三重県ヨット連盟や頑張ったお父さんに特別賞が贈られ、コーチとして活動を支えてくださった後閑さん、橘さんのお二人にも記念品をお渡ししました。最後に参加賞をめぐってじゃんけん大会で盛り上がり、楽しかった3日間のジャンボリーが幕を閉じました。

今回のジャンボリーでは、ヨット技術の向上だけでなく様々な水辺のスポーツを親子揃って楽しむことを大きなテーマの一つとして準備を進めてきました、その結果、麻生ヨットクラブの全面的なご協力により様々な活動メニューと手厚い運営体制で参加者の皆様には楽しい思い出をご提供できたのではないかと思います。一部の参加者の方からは、レースをやってほしかったなど技術向上を目的としたメニューを望むご意見もございましたが、次回の参考にさせていただければと存じます。



閉会式

麻生ヨットクラブ小峰実様のご挨拶 じゃんけん大会で盛り上がりました

ご後援いただいた行方市の鈴木市長には、開会式へのご臨席のほかに2日目にはプライベートで見学に来ていただき湖上から子供たちの様子をご覧いただくなど、このイベントに対する温かいお気持ちをいただきました。また、東京都ヨット連盟およびマリンプレイス東京より各種の備品を貸し出していただくなどのご協力をいただきました。そして何よりも麻生ヨットクラブの皆様には、事前準備の段階から後片付けまで縁の下の力持ちとしてご尽力いただきました。行方市や麻生ヨットクラブなど地元の皆様そしてジャンボリーをささえて下さった参加クラブの指導者、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。そして参加者の皆様、連休のお忙しい中、ジャンボリーにご参加いただいたことを改めてお礼申し上げます。次回もより一層楽しく有意義なイベントを企画いたしますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

